



令和6年9月2日 発行 文責：中谷 寿

明日香幼稚園教育目標

- 元気に遊ぶ子ども
- 心豊かな子ども
- よく考え最後まで頑張る子ども

残暑の厳しい中、2学期が始まりました。子どもたちの元気いっぱいの笑顔を見て、夏休み期間中、ご家庭で夏ならではの楽しい遊びをたくさん経験して、心も身体もたくましくなったように感じました。子どもたちは、久しぶりに会う友だちと笑顔で会話しながら、「一緒に遊ぼう」と誘い合って遊んでいます。

今年、9月17日（火）が「十五夜」です。十五夜とは1年で最も美しいとされている「中秋の名月」を鑑賞しながら、収穫などに感謝する行事です。平安貴族が中国の風靡な観月を取り入れ、後に庶民に広がると、秋の収穫物を供えて実りに感謝する行事となりました。十五夜は芋類の収穫祝いを兼ねているので、別名「芋名月」とも言われています。秋の夜長、ご家庭でもお供えをして実りの秋に感謝しながら名月を鑑賞してみたいはいかがでしょうか。また、お月様を題材にした絵本（「14ひきのおつきみ」「パパ、お月さまとって」など）もたくさんあります。この機会に親子で読書を楽しんでいただけたらと思います。



さて、近年教育において「自己肯定感」というキーワードへの注目が高まっています。「自己肯定感」は、簡単に言えば「自分の存在を肯定する感情」を指します。自分に対して肯定する気持ちが強いこと（自己肯定感が高いこと）は、子どもが成長していくにあたってとても大切です。自分を肯定する気持ちがあれば、勉強やスポーツ、趣味など様々なことに対して、前向きに取り組めます。最初は失敗しても、「がんばればできるようになる」と自分を信じることができれば、苦手なことや難しいことにも積極的に挑戦できます。その積み重ねによって、子どもは大きく成長していけます。

このような子どもの自己肯定感は、様々な要因によって育まれます。中でも大きな影響を与えると考えられるのは「保護者の方の接し方」です。子どもが最も多くの時間を過ごすのが家庭ですから、家族の関わり方によって子どもの自己肯定感は大きく変わります。

子どもの自己肯定感を高める接し方

- 成功体験を味わわせる
お子さまが関心をもっていることで、今までやったことがないことに取り組むように進めてみる。料理・洗濯・掃除などの家事の手伝い、DIY、学習など内容は何でもかまいません。「がんばったからできた」という達成感、自己肯定感の原点となります。
- 難易度が高いことは一緒に取り組む
難しいことに挑戦したからないときは、保護者の方から「一緒にやってみよう」と誘ってみてはいかがでしょうか。一緒にやることでやり方を学び、「今度は自分一人でもうまくいく」と自分に対する信頼感をもちやすくなります。
- ほめる・励ます
何かに成功したときは、口に出してほめてあげることも大切です。うまくいかなかったことも、「次はこうすればできるよ」と前向きに励ましてあげると良いです。これらの積み重ねによって自分も役に立っている、大切にされているという思いが高まってきます。

園においても、「子どものよさ」を認め、励ます取り組みを大切にしながら活動を進めています。9月は、運動会の練習も始まります。暑さ対策も行いながら、子どもの体調に気を配り、明るく楽しく園生活が送れるように努めてまいります。ご家庭でも、早寝早起き、必ず朝食を食べて登園するなど心がけていただき、一日元気に過ごせますようにご協力をお願いいたします。

